

Ⅱ－① スクーリング基本事項

1. スクーリング授業時間

9：30～18：10(終日)

注)
一部専門の講義系科目(面接1単位)では、9：30～16：30の
スクーリングがあります。

1時限	2時限	3時限	4時限	5時限
9：30～11：00	11：10～12：40	13：20～14：50	15：00～16：30	16：40～18：10

2. 事務取扱時間

スクーリング期間中の通信教育部事務室の事務取扱時間は以下のとおりです。
家族や勤務先、友人等からの電話による問い合わせには一切応じられません。

スクーリング名称	事務取扱時間	備考
全スクーリング	9：00～17：00	月～金
	9：00～12：00	土・日・祝

※但し、土・日・祝については変更になる場合があります。
その場合は学習支援システムよりお知らせします。

3. 学生への連絡方法

①スクーリング開講前に「スクーリング受講上の注意事項」を学習支援システムでお知らせします。

掲載内容

- ・スクールバス時刻表
- ・学内施設の利用日時
- ・使用教室一覧表

②掲示板による連絡

- ・学内における連絡は、掲示板(11号館1階ヤマハ楽器店前設置)で行いますので、通学の際は必ず確認して下さい。

4. 持参物

スクーリングの持参物については、学習支援システムの「学生へのお知らせ」より4月及び10月にご案内します。

5. 事務室夏期・冬期休業日

学習支援システムでお知らせします。
業務は行いませんので注意して下さい。

Ⅱ－③ スクーリング日程等

1. スクーリング日程表の見方

①スクーリング名称と開講No.	夏期スクーリング【開講 No. 0001】		
	1 年次担当科目	3 年次担当科目	
②開講授業名	スポーツ研究－1	マネージメント研究－2	
③選択科目別	(選択科目・1 単位)	(共通専門科目・1 単位)	←⑥科目区分
④単位数			
⑤履修コード	【2001】	【2102】	

(* 表内の番号等は架空のもので。)

①スクーリング名称と開講 No.

スクーリングの開講期ごとに名称を表記しています。

開講 No. は、開講期 (スクーリング名称) ごとに設定されているコード番号です。この番号をスクーリング日程表で確認のうえ、受講手続きを行って下さい。

②開講授業名

開講授業名とはスクーリングで実施する授業名のことで。

スクーリングには、科目の面接単位数を分けて複数の開講期で実施する科目があります。例の「スポーツ研究－1」「マネージメント研究－2」ように、科目名の後ろに数字を表記しています。

この開講授業の単位で受講手続きを行って下さい。

③必須科目、選択必須科目、選択科目の別

各科目の必須区分について「(選択必須科目)」「(選択科目)」のみ記載しています。

④単位数の表記

スクーリング日程表の開講授業名の下に記載している単位数は、各スクーリング受講により修得できる単位数を表記しています。科目に設定された面接授業単位数とは異なりますので注意して下さい。

(例)「スポーツ研究－1」(1 単位合格) + 「スポーツ研究－2」(1 単位合格) ⇒ スポーツ研究 (2 単位) 修得

⑤履修コード

履修コードは開講授業ごとに設定されているコード番号です。(例の【2001】、【2102】)

この番号をスクーリング日程表で確認のうえ、受講手続きを行って下さい。

履修登録時の科目コードとは異なりますので注意して下さい。

⑥科目区分

・ 専門科目以外の総合教育・共通専門・資格課程科目別は、開講授業名の下に記載しています。

・ 総合教育科目には、「(総合教育科目)」とは記載していません。

なお、総合教育科目のうち「英語Ⅰ」「英語Ⅱ」「スポーツ研究」「レポートの書き方」の4科目がスクーリング科目として設定され、文芸学科の「英語Ⅰ・Ⅱ」を除き選択科目として設定されています。

●スクーリング受講要件

スクーリング受講に際し、科目によってはスクーリングを受講するための条件として、学習状況 (課題の成果) の確認をする場合やスクーリング授業時にその課題を使用するためのものとして、受講要件が設定されています。

各科目の要件の有無、提出期日、内容を確認のうえ、課題制作、スクーリング受講に臨んで下さい。

●注意事項

スクーリング受講要件一覧の表中の提出期日はスクーリングを受講するにあたって報告課題の最終提出期日です。

今年度中に履修科目を修得するには、科目中の全課題を提出、合格し、かつ面接授業単位のある科目はスクーリングも合格しなければなりません。